日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２７期・５巻　　２０２１年　　８月号　　ＮＯ．240

仲間と仲間を結ぶ機関誌

すーほう

Susono Reihou Alpine Club

風の記憶

山行ＮＯ．１９３２
２０２１．０７．１７
白砂山

２０２１年度・８月度例会資料　　２０２１、０８．０７

１．報告・当面の予定

０７月０３日（土）・・・上塚＝加藤

０４日（日）・・・第３回・理事会（長田生涯学習センター）

１０日（月）・・・上塚＝加藤

１１日（日）・・・宝永山２３５２ｍ峰＝後藤、井上、遠藤（沼津労山）

１２日（月）・・・富士山主杖流し＝加藤、星、ほか（山楽歩）

１４日（水）・・・上塚＝加藤

１５日（木）・・・夏沢鉱泉～硫黄周遊＝加藤、ほか４名（山楽歩）

１６日（金）～１８日（日）・・・草津白根山・横手山、白砂山＝後藤、合谷

２０日（火）～２１日（水）・・・乗鞍高原、焼岳＝後藤、ほか２名

２０日（火）～２２日（木）・・・八方尾根～唐松～白馬岳＝加藤、ほか１名

２４日（土）～２５日（日）・・・針ノ木雪渓＝加藤、ほか

０８月０５日（木）～０９日（月）・・・夏山合宿

２１日（土）・・・三ッ峠

２．事故速報・・・１．２０２１/０６/１８　静岡労山、６８歳、男

静岡・足久保川上流。大山頂上のテーブルベンチで食事中、左足首から侵入したと思われる、マダニに左大腿部内側を噛まれた。医療機関でマダニは除去したが、２日後、４０度の発熱をし、６/２０～２８入院した。マダニ感染症の疑いがあるので、現在、精密検査中。

２．２０２１/０６/２０　あさぎり山の会　６３歳　女

引佐・三岳山の三岳神社で、一部、ヤブ漕ぎがあり通過の際、マダニが衣服に侵入したと推察される。自宅に戻り、異常を感じ初めてマダニに噛まれたことに気が付く。孵化したてのようなマダニが身体中、無数に付いていた。発熱・紅斑等はなく、感染症の心配はないこと。

３．寄贈会報とピックアップ

「やまなし山の会会報」　山梨・山の会　　７月号　　NO.290　　電子版　　P22

＊表紙は、九重連山・平治（ひいじ）岳。八ヶ岳の記録が多かった。

８月号　　NO.291　　電子版　　P16

＊木曾・鳥居峠越えは面白そう。例会座学で山梨県警山岳救助隊県内の山岳遭難の傾向とヘリ救助 の実情 、遭難防止のための計画作りや装備 歩き方 事故発生時の対応など、大変具体的なお話と映像があった。

「のいちご」　伊豆ハイキングクラブ　　電子版でいただいたが、開けなかった。

「くろゆり」事務局ニュース　　三島勤労者山岳会　　７月号　　NO.498　　P8　　電子版

＊６/１３，富士山グランドキャニオンで夏山遭難対策訓練。７名参加。

「あしたか」　沼津勤労者山岳会　　７月号　　NO.表記ナシ　　P8　電子版

＊計画＝赤岳・阿弥陀岳（一泊）、赤岳（一泊）、瑞牆山、苗場山　　報告＝硫黄岳・金峰山

「あさぎり」　あさぎり山の会　７月号　NO.333　A4 判　p47　紙製本

＊根原～陣馬の滝で清掃ハイク。２４名参加。合計 16.7ｋｇ。思いの外あった。

「山靴」　練馬山の会　春号　NO.334　B5 版　P71　紙製本

＊２０２１山菜日記・２０２１スキー日記など。

「登山時報」　日本勤労者山岳連盟　８月号　NO.558　特集「夏山シーズン到来」　p40　紙製本

＊５月１１日～６月１日までの事故一報。雨の時期、足を滑らし事故が多い。

切り抜き帳

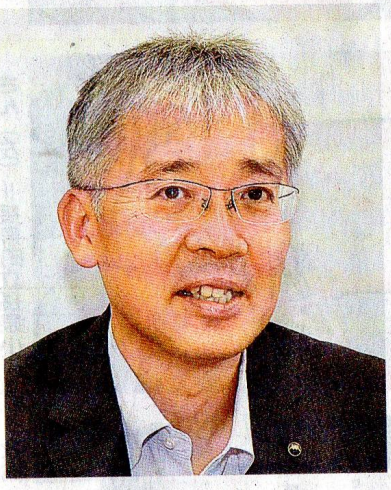
静岡新聞から転載

7/4

この人

県が創設した富士山・南アルプス保全室長に就任した

上家（じょうけ）　信（まこと）さん（三島市）



リニア中央新幹線工事に伴う大井川の水問題で注目される南アルプスや富士山の保全活動に力を入れる。林業の技術職として入庁し治山や林業振興を担当してきた。環境局は4度目の勤務。千葉県生まれ。52歳。

―南アルプスの魅力は。

「ユネスコエコパークに登録され、世界に誇る自然環境がある。ただ、一般の人には富士山よりも敷居が高いと思われ、近寄りがたいイメージがある。南アルプスの素晴らしさを情報発信し、まず身近に感じて、県民に足を運んでほしい」

―どのような取り組みを考えているのか。

「一過性にならず、多くの人に継続して賛同してもらうようにしたい。南アルプスの自然は知られていない部分もある。今後、調査研究にも力を入れたい」

―3月に創設した南アルプス環境保全基金とは。

「ふるさと納税を活用して寄付金を集め、理解を深めるきっかけにしてもらう。シカ食害から高山植物を守る防鹿柵設置、農業高との種子保存プロジェクト、保全の大切さを学ぶシンポジウム、ドローンを使った動画撮影などに使う」

―リニア工事への対応は。

「リニア問題は環境保全の大きなくくりの中にある。リニアはリニア、保全は保全として進めていく」

◇

昨年からジョギングを始めた。標高3千メートル級の現場に行く体力を養う。

（政治部・大橋弘典）

第５５期（２０２１年度）第３回理事会　報告　　２０２１年７月４日

於　長田生涯学習センター

伊豆 HC（欠員）		清水労山（小林幹朗）	0	山登歩（花澤秀治）	0
三島労山（森　勤）	0	静岡労山（加藤高志）	0	（鈴木みほ子）	0
裾野麗峰（欠員）		（砂子とみ江）	0	NMC（海野美春）	0
沼津労山（鈴木みどり）	0	安倍っ子（竹本幸造）	0	（森英代）	0
あさぎり（福原勝保）	0	焼津山の会（山崎勝治）	0	浜松労山（小澤賀代子）	0
ふじ山楽歩（欠員）				フレンズ（鈴木哲治）	欠

１　各ブロックからの報告

東部ブロック・・・メールで　退会対策があれば教えてほしい　ブロック交流会案内

中部ブロック・・・５・１９　養老山山行実施　次回は 10 月に計画したい

ブロックのブログや HP への投稿が増えてきた

リニア工事の現場（西俣流域）への山行計画している

２　各専門部からの報告

組織部・・・なし

教育遭対部・・安全登山講習会の内容募集

ベルクシュタットについて曽根崎さんと連絡

自然保護部・・清掃登山の報告（別紙報告）

【浜松労山の分散の理由は？】コロナ対策

【コロナで参加者の変化はあったのか？】コロナの影響はほぼ見られない。

天候や日を移動したことなどでは人数に変化あり

清掃登山のやり方のついては各会で決めていけばよい。（来年は元に戻るのではないか？）

労山活動のアピール　行政への働きかけの意味もある

（焼津・・市役所へ報告、要望を伝え　　ゴミ袋をもらっている）

３　県連関係

ベルクシュタット・・・１０月３１日（日）　満観峰　　（雨天時は室内で実施）

ワクチン接種の人が増えている時期がいい　涼しい時期

感染対策（マスク、手袋、レインコート着用　ゴーグルやサングラス眼鏡着用）

９月末までには案内を配布　１０月１０日申込み締め切り予定

資料については理事あてに昨年のものを配信

安全登山講習会（１０月２４日　　清水区役所　ふれあいホール）

講演希望・・①登山用具の基本と最新情報、（笹原さんと連絡）

②天気の話、

③遭難から生還した時の行動内容やポイント

講師など決定したら連絡する

４　全国連盟関係

＊7 月 10 日～１１日　全国自然保護講座

＊７月１６日（金）１９：００～（zoom 参加）全国登山研究集会に向けての課題別講演会②

「夏山シーズンを前に緊急アピール」　７月１２日締め切り　　＊別紙資料あり

＊全国機関紙会議より・・・データ化、紙ベースと両方の意見があるが、全員購読を基本に総会提案

５　会長資料より

県下山岳４団体と静岡県との懇談会Ⅰ　Ⅱ

夏山に向けて山小屋の開設等について話し合い内容について説明あり

南アルプス写真展打合せ報告　　１１月２日（火）～７日（日）　静岡市民ギャラリー第２展示室

【意見　提案】予算の範囲内で行う　　仕組みを整える（やり方、運営の仕方など）
東部や西部でも写真展をやったらどうか？
映像で流したらどうか（県が YouTube で UP している）

６　その他

・１月の交流ハイクの山を早めに決めてほしい
・レジメを詳しく・・次回から内容を記入していくようにします
・知事選挙の件について・・・提案の中に入れてほしい
・静岡市企画のクライミング教室　　清水テルサ
（講師　清水労山　静岡労山　安倍っ子　焼津　NMC　あさぎりより計１１名）
１回目　７月１６、２３，３０日（予備日８月１０，１７，２４日）
２回目　９月４，７，１１，１２，１４，１８日（予備日１９，２１，２５，２６日）
・会報を電子化していて支障はないか？・・・支障はない
印刷、郵送への手間と代金の削減になっている（電子化しているが紙を希望する人も有）
・マダニに注意！

切り抜き帳

県民だより・７月号　富士宮「あさぎり山の会」福原みさよさん

ふじのくに いきいきLIFE

いきいきメッセージ

山の中で余計なことを考えず、ただ自然を感じている時間が好きです。それだけで元気が出るし、改めて「自然を守ろう」という気持ちになりますね。伊豆半島や天竜川上流、志太地域の山々など、静岡県には富士山や南アルプス以外にも、魅力的な山がたくさんあります。移動が制限されている今だからこそ、ぜひお近くの山に登ってみてください。

活動の様子や登山の魅力をもっと語ります。

福原さんのインタビュー動画はこちら!

福原（ふくはら） みさよさん
静岡県富士山エコレンジャー／富士山の自然を守る会 運営委員

富士山の自然と登山者の安全を守る

静岡県富士山エコレンジャーは富士山の環境保全や、訪れる人々にマナー啓発を行うボランティア団体。生まれも育ちも富士宮市の福原さんは、子どもの頃から富士山に慣れ親しみ、現在も窓から富士山が見える家に住んでいる。数えきれないほど富士山を歩いてきたが、富士登山の歴史や生態系など、より深い知識を求めて「富士山の自然を守る会」に入会。そこでエコレンジャーの存在を知り、2018年から活動に参加。「富士山の自然を大切にしたい」「登山者のお手伝いをしたい」という思いで活動を続けている。趣味でも山に登り、六つある富士登山ルートは全制覇、昨年は70日を山で過ごすという、生粋の登山愛好家でもある。

エコレンジャーは定期的に合同環境パトロールを行い、登山道の安全性や外来植物の調査などを行う。夏のマイカー規制時期にはシャトルバスに同乗して、登山者にマナー啓発や自然解説も行っており、そういった触れ合いも醍醐味（だいごみ）だという。昨年は富士山の開山が見送られ、残念な思いをした福原さんだが「その代わりに富士山自然休養林をくまなくパトロールできました」。珍しい植生を確認するなど、新たな発見もあったという。自然休養林とは森林浴やハイキングなどを楽しむために整備された森林のことで、富士山の2合目から6合目には13の散策コースが設けられている。福原さんによると、同じ富士山でも頂上とはまた別の魅力があり、起伏も緩やかなため、高齢者や登山初心者にもおすすめだそう。

登山は楽しいだけでなく危険も伴うもの。富士山の天候は変わりやすく、大雨により登山道が川のように一変することもあり注意が必要だという。「登山に適した服装やルールなど、事前にしっかり情報収集してからお出掛けください。」福原さんからのお願いだ。

富士山自然休養林をパトロールするエコレンジャー

◀独立峰では世界一のキリマンジャロ登頂にも成功している福原さん

▲富士山頂でお鉢巡りをする福原さん

▲折り畳めるヘルメット。「軽くて持ち運びしやすいので、皆さんも安全のためにぜひ携帯してください」

切り抜き帳

静岡新聞から転載

南アルプスを未来に

官民「つなぐ会」設立

7/15

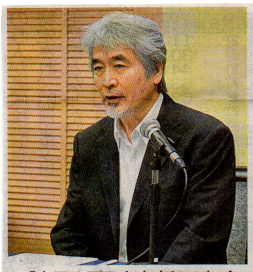
静岡で総会

南アルプスの豊かな自然環境の保全に向けた個人や団体の協働を目指す県の「南アルプスを未来につなぐ会」が14日、設立総会を静岡市葵区で開いた。行政や企業の関係者、学識経験者などの発起人約20人が出席し、会長に霊長類学者の山極寿一総合地球環境学研究所長を選出した。同会は8月中旬、設立の記念イベントとして高山植物の保護活動を紹介する講演会を開く。

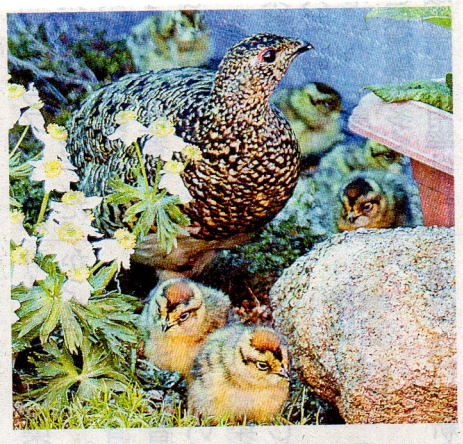
同会は、南アルプスに関心を持ち、調査研究や保全活動に取り組む個人や団体の入会を募集する予定。運営には3月に県が創設した南アルプス環境保全基金を活用する。総会では会則や本年度の事業計画を決めた。

県は総会で、南アルプスをフィールドとする研究活動の活性化に向け、同会とは別に学術フォーラムを創設する方針も示した。希少な動植物が生息する地域でありながら研究活動が困難な南アルプスで、研究者の連携や後継者育成、保全活動や利活用に対する助言を行う。つなぐ会の発起人からは、国際的な研究促進や地域住民との関係構築、長期的な視野での活動などに期待する意見が出た。

総会後の会見で川勝平太知事は、リニア中央新幹線の建設計画を巡り南アルプスの自然環境への関心が高まっているとして、同会の設立で「南アルプスに限らず地球的な観点で（環境保護の）問題を俯瞰（ふかん）できる」と意義を強調した。山極会長は「グローバルな気候変動や資本主義の危機といった人類が直面する危機を乗り越えるため、南アルプスを地球の中心に据えて発信したい」と話した。



「南アルプスを未来につなぐ会」の設立を受け会見した山極寿一会長＝14日午前11時、静岡市葵区



保護されたニホンライチョウのひなと雌親＝13日、中央アルプスの駒ケ岳周辺（環境省提供）

ライチョウ誕生続く

7/16

中央アルプス 計45羽

環境省信越自然環境事務所は15日、中央アルプスで繁殖を進めている国の特別天然記念物で絶滅危惧種のニホンライチョウのひな25羽がふ化したことを新たに確認したと発表した。6日までに確認されたひなも含めると計45羽となる。

同事務所によると、ひなが見つかったのは駒ケ岳周辺など。ひなと雌親の一部はテンなどの捕食者や低温から守るためケージで8月上旬まで保護するなどし、動物園に移送して個体数を増やすかどうか検討する。45羽のうち3羽が既に死んだ。

ライチョウは中アで絶滅したとみられていたが、雌1羽が2018年、約50年ぶりに見つかった。環境省は北アルプス乗鞍岳から20年夏に19羽を移送するなどして繁殖を目指している。

また長野県大町市の大町山岳博物館は15日、飼育するニホンライチョウが産んだ卵から1羽がふ化したと発表した。今後2週間は体調を崩しやすいことから慎重に観察していく。同館において、雌の抱卵によるふ化は1998年以来。

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・井上　　写真・後藤
山行番	NO.1931
日　時	2021 年 7 月 11 日（日）晴れ・風涼しい
山　域	富士山・宝永 2352m 峰（須山口下山道）
コース	竹沢種苗前 8:15－須山口下山歩道入口 1358m 発 9:25－宝永 2352m 峰頂上 12:13－2032m で休憩 12:30-下山開始 13：15－駐車場 14：47－長泉
標高差	上り・下り　駐車場 1358m～2352m 峰＝約 1000m
快適度	５（５段階評価）藪なし
難易度	非常に困難　　困難　やや困難　レ普通　やや易しい　易しい
梅雨の森林浴と巨大火口に乾杯	
参加者	後藤、井上、遠藤（沼津労山）＝3 名

記録を見ると、昨年同じ時期の 7 月 19 日にほぼ同じコースを同じく長泉 8 時出発で後藤さん、加藤さん、私の 3 人で行っていた。昨年は今回のように看板のある一般の須山口下山歩道入口ではなく、バリエーション新ルート開拓のため普通の人は入らないだろう場所がスタート地点だった。そのため、何度も地図、コンパス、ＧＰＳ、スマホアプリで現在地を確認しながらの登りで、ヤブ漕ぎもあり、3 時間 9 分と時間がかかった。今回はしっかりと道があるルートを歩き 2 時間 48 分で登った。下りは昨年 1 時間 53 分（最後に沢から駐車場まで 13 分の登り返しあり）で、今年は 1 時間 32 分。全く同じルートではないが、昨年より短時間なのでよかった。

須山下山口

荷歩訓練

今回、加藤さんは 1 回休みで、代わりにというわけではないが沼津労山の遠藤さんが参加。聞けば、直近でテント泊の槍ヶ岳の計画があり、おろしたての 60L ザックのお試しとテン泊に備えての 10kg 歩荷に挑戦とのこと。おもりのために何をいれたかというと、なんと座布団！。富士山で座布団に座り昼ご飯を食べる優雅な光景を想像してしまった（が、実際は使わなかった）。

まだ梅雨のなかで、毎週のように週末は雨が降り、だんだん蒸し暑くなり、コロナのあんチクショーのせいで日中マスクはしなければならないしと、陰鬱な日々を過ごしていた。

しかし、富士山はちがった。森に入れば、新緑と苔むした空間は右も左も上も下も全て緑。鳥の声、虫の声、風の音。完璧に自然に包まれる。そして涼しい。道は傾斜が緩やかなので呼吸も楽。鼻呼吸をしては、鼻腔を通る空気の清らかさを堪能し、口呼吸に切り替えては、のどから肺にかけて感じる美味しい空気を味わった。1 か月前は富士山登頂チャレンジをして、森林限界の上から強風の中頂上を目指す修行の山だったが、今回は反対で、森林から森林限界までのおだやかな森林浴登山だ。五合目より上の荒涼とした岩ばかりの世界と違い、緑に囲まれ身も心も癒される。

ランニング軍団

ララムリ・サンダルの彼女（注・１）

登りの途中でトレイルランのグループがすれ違い下っていった。東京からの男女混合 16 人で、中に裸足でワラジサンダルを履いて走っている女性がいた。サンダルで走っても問題ないと言っていたが、ゴム底で長時間走るのはしんどかろう。この後、御殿庭の上ではまた登ってきて追い付かれ、2350m 峰で一緒になり、その後、下りの途中でまた抜き去っていった。1 日に 3 回もすれ違った。

御殿庭上に出る前に、遠藤さんが疲れてきたようなので、荷物を分けて持つことにした。この時の分担は 1kg ぐらいだったのでなんでもなかった。しばらくすると、まだしんどそうだったので、水関係や重そうなものを調子に乗って次々と自分のザックに移した。すると、ずんっと脚にきた。ま、でもこのくらいがいつもの歩荷の感じなので、一歩一歩脚にかかる重さを堪能した。きっく一っ。筋トレしている感じになる。おかげで心拍数も上がり、息も上がる。ビールがおいしくなる予感がする。御殿庭上に遠藤さんより一足早く到着。遠藤さんの荷物をデポするついでに自分の荷物の重そうなものもいくつか出して置いておいた。これで、ほぼ何もかついでないくらいの感覚になり、さっきまでのキツイ状況から解き放たれた。トレイルランの人は確かに早いけど、荷物がないので早いのは当たり前と思った。2350m 峰へのトラバース道はほどよく踏まれて平らになっており歩きやすい。昨年はコロナ 1 年目でもあり人が少なかったのか踏まれておらず歩きにくかった。トレラングループが追い付き抜かしていく。後ろを見ると、目立つオレンジ色の帽子の遠藤さんが途中まで登り、やがて下っていくのが見えた。そして 2350m 峰に登頂。トレランの人達と写真を交代で取った。

ここで、前から一度やりたかったことを実行した。2350m 峰で宝永第 1 火口を前にしてビールを

ピークが２３５２ｍ峰

飲むことだ。急いでザックから 350mL 缶を取り出し飲む。やはり思った通り爽快だった。自然が作る壮大な幾何学的なラインを目の前にしてのビールは最高だった。ほぼ一気飲みをして、下る後藤さんを追いかけた。

御殿庭上のいつもの場所で昼ご飯。後藤さん自家製キュウリや枝豆の塩がたまらなく体にしみる。食事中、通り雨が降ったがすぐにやんでくれた。雨雲は見当たらず、どこかからか雨粒が流れてきて降ったようだ。

ここでは雲の発生を目の前で見ることができる。うっすらとした雲がこちらにやってきて、地形に合わせてぐるぐると渦を巻き、綿菓子を作るように次第に雲になり、目の前を移動し過ぎ去り、それが繰り返される。毎度毎度これを見るのが楽しい。

下りは各自の荷物をかついで歩いた。子天狗の手前で右に折れ沢に下り、遠藤さんが先達となり下った。砂で埋められている沢は、砂走のようでザックザックと歩きやすい。沢は昔より幅が広がっているらしい。上流から砂が流れてきて樹木を飲み込み枯らし、またその砂地に新しい小さな木が成長している。破壊と再生を繰り返している。沢の幅が広がっているので、いつかこの沢でスキーをして水ケ塚まで下りたらかっこいいだろうと話した。しかし地球温暖化で雪は減少傾向なのでたぶん無理だと思う。

また森の中に入り須山下山道に入る。ここでトレラングループと 3 回目の遭遇。歩きやすい登山道を下り、駐車場に到着。

ランナー軍団

ランナー女子が撮影

御殿庭下沢（仮称）から赤岩を仰ぐ

朝 8 時に出て 3 時には終わり、長泉には 4 時には着いた。日本一の富士山を手軽に楽しめる、なんと幸せなところに住んでいるんだろうか。　以上

注・１　少し前 TV で放映されたが、凄い人たちだった。
https://www.ntv.co.jp/gyoten/backnumber/article/20170808_03.html

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・写真　後藤
山行番	NO.１９３２
日　時	２０２１年７月１６日（金）晴れ・風涼しい
山　域	白砂山（日本二百名山・２１３９ｍ）
コース	野反湖駐車場４：３９ー八間山登山口４：５９ー八間山６：０４ー堂岩山分岐７：５８ー白砂山９：１６～５６ー堂岩山分岐１１：１０ー地蔵山ーハンノ木沢ー野反湖駐車場１３：２６ー草津温泉
標高差	上り・下り　野反湖駐車場約１５２５ｍ～白砂山２１３９ｍ＝約６０９ｍ （ただし、上り返し多く長い）
快適度	５（５段階評価）藪なし
難易度	非常に困難　困難　レやや困難　普通　やや易しい　易しい
とかく、トラブルは、続くもの・・・	
参加者	後藤、合谷＝2 名

山行にあたって、「絶対忘れものをしない」が鉄則。いつも気を付けているが。昔、登山靴を忘れ、御殿場から戻ったことがある。仲間も忘れたことがあり、「長靴」で上ったことがあった。少々のものでは問題ないが、大物はそうはいかない・・・。
今回は、男２名なので、蚊取り線香・ひげ剃り・ライター.・包丁など念には念を入れたハズ。往路は関越で行くので、相方の裾野まで車で向かった。参加が二人なので、経費が掛からない、プリウス・プラグで行くことにした。車は、ガソリン１リッター＝２５ｋｍ走るという。モータを併用している車である。

野反湖・堂岩山登山口

八間山登山口

トラブル・その1

裾野に着き、荷物を乗せ換えている時、何と「ザックが無かった」ガビ～ン！！座敷に置いてあったままだった。長泉まで取りに戻る。これで約１時間半のロス。結果、初日予定だった、本白根山に上れず、相方には申し訳なかった。

一度あることは、二度・三度とあるのが世の常。これが、今回の「トラブル・ショー」の始まりだった。関越から長野原～草津温泉～本白根は遠かった。ランチを横手山レストランで頂く予定が、大幅に遅れてしまった。
ランチ締め切りの１４：３０まで間に合わせるべく、「のぞき」から標高差２００ｍを上る。ただ、私は「高を括って」サンダル履きで上ったので、急登に悪戦苦闘だった。レストランの女将は、「えええ～、サンダルで上って来た」と驚いていた。

「のぞき」横手山登山口

横手山

ハクサンチドリ

クロユリ

レストランまでは、渋峠からリフトが５分くらいで上っている。しかし、料金が何と片道＝１２００ー。往復＝２４００ーという。これでは馬鹿らしく乗る人はいないと思いきや結構、乗っている。しかし、途中で会ったご夫婦は、余りに高いで、「歩いて下っています」と言った。
レストランの回りは、大型の黄色い花・黒百合が咲いていた。聞けば、黄色い花は「シナノキンバイ」というが、何か背丈が大きすぎて、ピンと来なかった。何でも、「コーヒー滓で育ちすぎ」というが・・・。
レストランで遅いランチ。ビーフシチューがお勧めらしいが、知らなくてボルシチとビアを注文。ボルシチは、やや薄味だったが美味しかった。自家製のパンが付いていた。ビアも美味かった。女将に見送られて下山。女将は一年中、ここに居るといった。今度は、スキーで来ますと挨拶。野反湖（のぞりこ）に移動する。サンダルでは、「のぞき」への急坂は下れないので、私だけスキー場

を渋峠に下る。車は相方に頼んだ。スキー場は、傾斜が緩く楽だった。しかし、５～６分のリフトが、１２００ーとは改めて高いと思った。

ボルシチ

女将

野反湖まで遠かった。２０ｋｍくらいあるか。グーグルで見たら４１ｋｍあった。初めての、弁天山峠から俯瞰する湖は素晴らしかった。色がキレイで周りが、花崗岩みたいな白で青空に映える。辺りの草原は、ニッコウキスゲが満開だった。湖は、自然湖かと思ったら、人工湖だった。

野反湖

トラブル・その2

キャンプ場の受付に行く。今夜はバンガロー泊り。一棟＝７１５０－。一応、４名用だが、４名ではやや狭い。シャワーが完備。１０分＝２００円。有り難い。しかし、ここで、第二のトラブルだった。何と「予約は受けていません」だった。

メールは３回貰い、バンガローも「NO.３」と連絡が来たのに。旦那が黒人の新婚３ヶ月のアルバイトの女子は、「予約受付とここは別で何故か分からない」と、当方が分からないことをいう。一体、ここの情報管理はどうなっている？？！！

怒っても仕方がないので、「兎に角、バンガローは空いているか」と正せば、何故かNO.３は空いていた？？。すぐ掃除をして貰い一件落着。油断も隙もあったモノではない。以下、メール。

On 2021/07/15 11:11, 後藤隆徳 wrote:明日、バンガロー１棟、２名、よろしくお願い致します。
静岡県駿東郡長泉町下土狩１５４１－１２　後藤隆徳

後藤 隆徳様
野反湖キャンプ場のご予約ありがとうございます。以下のご予約内容をご確認ください。
到着日: 2021 7月 15日（チェックイン After 13:00 時）
出発日: 2021 7月 16日（チェックアウト Before 10:00 時）

メールをよく見た。私が宿泊を依頼したのは、７/１５で「明日」と送った。つまり１６日にお願いした。ところが、何故か返事は、「１６日」でなく「１５日」だった。これが予約を取れなかった原因。私も忙しく良くチエックしなかった。それと、予約日は、「明日」でなく、「１６日」にすべきだった。大いに反省。

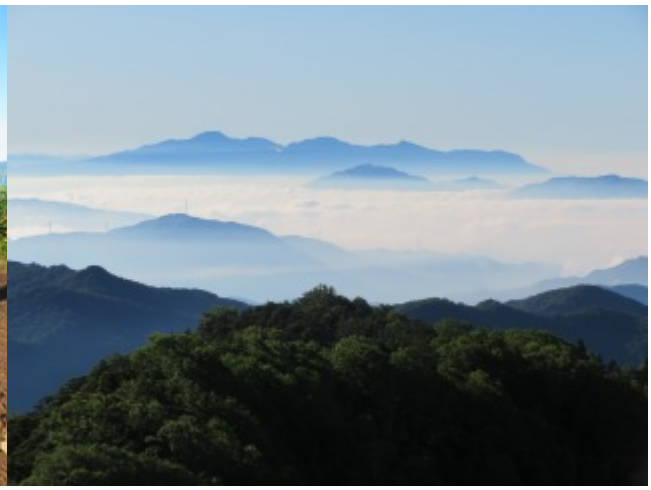
バンガロー

炊事場で夕食。イイ風が渡る。ビア・ワイン・熱燗をやる。途中で先ほどの受付嬢が帰る所だった。前述の黒人の方も一緒だった。そこで、新婚３ヶ月ということが分かった。旦那はアフリカの方だったが、この先、大丈夫だろうか？？

バンガローは、蚊がいる情報だったが、いなかった。涼しくて寝やすかった。テレビはないので、早めに休む。周りも、実に静かだった。

翌朝、野反湖入り口の駐車場に移動し、道路を２０分程歩いて、八間山登山道着。ここから登山開始。八間山までは、もう一つ弁天山の峠から上るコースがある。標高差は変わらない。ただ、こちらから往復は辛いだろう。出来れば周遊がイイ。しかし、結果的に周遊の地蔵山経由も長く、上り返しが厳しかった。いずれにしても、白砂山は大変な山だ。

八間山


朝の風景

白砂山は遠い

八間山に着く。ようやく展望が広がった。快晴でイイ風が吹き涼しい。見事な雲海が広がっていた。弁天山方面から２名上って来た。ピストンの様だ。八間山から堂岩山分岐まで上り下りが多い。日差しが強くなり暑い。背後に富士山が確認できた。アキアカネが沢山飛んでいた。
期待の花は少なかった。笹が凄い。そう言えば昨日、キャンプ場で「ニッコウキスゲ」が凄かったが、聞けば「鹿の食害」は無という。考えてみれば、これだけ笹が生い茂っていたら、鹿は生息不可能だろう。余りの笹で、高山植物が守られている、と言っても過言でない。
堂岩山分岐で、ようやく白砂山が大きくなった。道標に２ｋｍとあった。約１時間というところか。ただ、ここからが曲者だった。上ったり下ったり、なかなか歩は進まない。上り始めて３時間ちょいだから、それ程疲れてはいないハズだが、体は重かった。
単純の一本上りと上り下りが多いのとでは、やっぱり疲労感に相違があるのだろうか。それでも、ようやく最後の上りに掛かった。この辺りは、花も少し良かった。バイケイソウが目立ち、クルマユリも咲いていた。ニッコウキスゲもチラホラ。急登をこなし、ようやく頂上着。地蔵山経由の方

白砂山

バイケイソウ

クルマユリ

が何人かいた。約４時間半掛かった。標高差の割に厳しい山だった。
展望は素晴らしい。ただ、余り入らない山域なので同定は難しい。白根山・浅間山・上州武尊山・尾瀬方面、などなど。大休止。ビア２本が美味かった。畑のキュウリ・エダマメがイイ。オムスビも１ヶ食べた。それにしても続々と上って来る。地味な山と思いきや、そんなに人気があるのか。埼玉から来たオヤジと会話。マラソンをやっていたが、心筋梗塞で登山を始めたという。発作が慶応病院の前で一命を取り留めたという。我々とは逆で、八間山経由で帰るといった。
小１時間で下山。元気が回復した。頂上の少し東に３県界があると、皆さんは往復していた。要す

頂上

るに甲武信岳と同じで、群馬（上州）・長野（信州）・新潟（越後）の上信越（山・岳）って所か。白砂山がそうであれば良かったのに。
下山開始。上って来る来る。その数、５０名は下らない。しかし、炎天下、バテバテの方も多かった。この時期、早朝登山でなければ厳しい。こんな地味系の山にどうしてだろう？？
やっと、堂岩山に戻り、地蔵山を目指す。だが、ここも下山にも関わらず、上り返しが多かった。泣きが入る所だった。
極めつけは、ハンノ木沢に急下降。これでお終いと思いきや、最後の上り返しがまたあった。
このようなコースは、いただけない。再登はもう考えられない。汗だくで駐車場着。観光客が多かった。ニッコウキスゲが咲き乱れる草原と美しい湖は、人気があるようだ。草津温泉に戻り宿泊。宿は「湯畑」のすぐ近く。温泉は、流石に素晴らしかった。

トラブル・その3

朝湯も堪能して帰静。トラブルも２件でヤレヤレとかと思った。河口湖で昼が過ぎたので、いつも通過する道路の脇、船津地区のソバ屋「とも花」に入った。店構えは素晴らしい。
趣向を凝らした、広大な敷地に洒落た建屋。店に入った。７０過ぎのオヤジが出て来る。「呼ばれるまで外で待て」と高圧的。呼ばれて席を奥の暗い所を指定された。待っている間、窓際の眺めがイイ座席の客が帰ったので、席替えを希望したら、オヤジが切れた。
「俺の指示に従え」「文句があるか」「俺は一人でやっているんだ」「事故（意味不明）があったらどうする」「帰れ」「お前らに食わせるソバはない」・・・。宥めても無理だった。この手の輩は何を言ってもダメだ。「分かりました。帰ります」ただ、「帰ったらネットに上げる」と言ったら、「俺を脅迫する気か」「言葉に気をつけろ」と物凄い剣幕。私は「事実を伝えるだけ」と返した。帰ってこの店の評判をネットで見て驚いた。罵詈雑言の雨嵐だった。
以前、山の帰りに御坂のキノコ屋に寄った。バアさんが応対。ジイさんは奥の椅子に鎮座。数々のキノコがあるので、名前など聞いた。しかし、全体的に古いので店を辞そうかと外に出たら、やおらジイさんが出てきて、「お前らキノコの学習などしてタダで帰るのか」「月謝を払っていけ」と相当の剣幕。車に石でも投げられそうな雰囲気だった。
どうも、「山梨県人と静岡県人は合わないのだろうか？」昔は貧乏県で一割自治など揶揄された時代もある。意味は様々だが「甲州人と牛の糞は気をつけろ」なども言われる。ま、いろいろあるだろうが、隣の県同士、仲良くやって行きたいものである。

白砂山
２１４０ｍ
白砂山, 2140 m
八十三山, 2101 m
地蔵山
堂岩山
堂 山, 2051 m
キツイ上り
猟師ノ尾根
富士山見える
キャンプ場
駐車場
八間山登山口
芽の尾根
野反湖
八間山, 1935 m
展望良い
405
Japan Topo 10M Plus V3
CanvasMapple Co., Ltd 2014
Garmin Corporation 1995-2014
2021/07/24 10:27:09
GARMIN

日本勤労者山岳連盟
静岡県勤労者山岳連盟・東部ブロック
裾野麗峰山の会（愛称・れいほう山の会）
会報「れいほう」
第２７期・５巻　　２０２１・８月号　　NO.２４０
連絡先　静岡県駿東郡長泉町下土狩 1541-12　徳山荘
090-8956-9990　　055-986-6075
HP　　http://susono-reihou.babyblue.jp/
mail　　takanori_reihou8888@yahoo.co.jp

あの日・あの時

１９７１年０９月２２日～２７日
奥又白の池にて　　後藤（２４）、右・清水准一（２１・ちなみに山梨県在住）
＊前穂高岳北尾根＝四峰正面・松高ルート～Ｄフェース・田山ルート
＊前穂高東壁＝右岩稜～Ａフェースを登攀した。